

～令和4年度を振り返って～

姫路高校で3学年全員の生徒が1人1台タブレット端末を持つという、“新しい”高校生活が1年過ぎました。1年間の総括として、たった1年間ではあるが、姫路高校はこんなにも変われるのか！と感じました。タブレットが導入される未知の学校生活に、生徒も先生も柔軟に対応する。これは、『師弟一体』の校訓のもと、姫路高校をもっと良くしたい、という先生と生徒の思いの“強さ”からなるものだと思います。本校の特色である、探究活動と進学をともに“より高いレベル”で実現していくために、タブレットに使われるのではなく、使いこなす人間の力を伸ばしていこう！

§ 令和4年度におけるタブレットの活用例の振り返り

① 授業でのタブレットの活用

フォームで小テストを行うことで、復習する機会も増え基礎学力の向上・定着につながった。スライドで学んだ内容の公式や解法などをまとめることで、思考を整理するなど様々な場面での活用が増えていきました。また、探究活動においては発表原稿をドキュメントで作成するなどタブレットが必須アイテムとなりました。さらなる姫路高校での学びにご期待ください！！



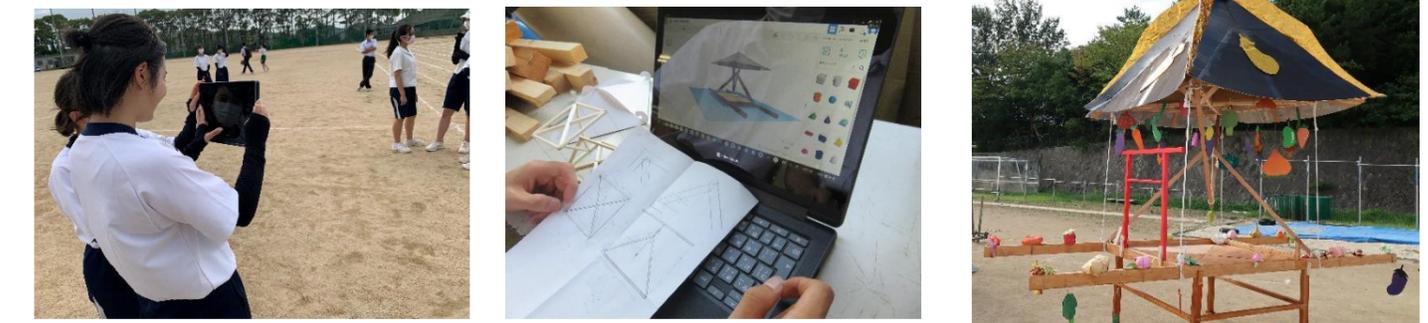
② 各行事でのタブレットの活用

タブレットの導入により、今までの行事が進化しています。体育祭のデコレーション作成において、設計図を作成したり、ダンス動画を見たり、撮影することで表現力が向上しました。

<姫高祭>



<体育祭>



③ HR活動や学年での取り組み

学年ポータルサイトの運営やクラスルームを活用することで、いつでも連絡事項の確認が出来るようになりました。各クラスのICT委員がSHRで学年サイトの連絡事項を報告するなど、タブレットが教室に当たり前の存在になっています！



④ 生徒会活動や国際交流

全国市立高校生徒会サミットや台湾姉妹校との国際交流といった、いつでもどこでもつながることが出来るのが、ICTの強みです。セキュリティ面での指導をしつつ、学校だけにとどまらず様々な交流を経て、視野を広げて可能性を伸ばしていこう！



新しい姫路高校を創り上げるのは
“姫高生”君たち自身だ！！
挑戦することを恐れず、
高校生活に夢中に取り組もう！
さらに進化する姫路高校を楽しみにしてください！！

